

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調査

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	08-07	所管部	建設部	作成責任者	土木局河川砂防課長 松田 哲夫
				担当係	河川計画係（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）				
ふりがな 地区名	尻別川	市町村名	ニセコ町・喜茂別町 ・京極町・倶知安町	総事業費	28,500 百万円
負担割合	国	道	市町村	—	その他
	66.7%	33.3%	—	—	—
	19,000 百万円	9,500 百万円	— 百万円	— 百万円	— 百万円

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●尻別川は、日本海に注ぐ一級河川で、S24年9月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。 ●このため、S34年より尻別川、支川硫黄川などの河川改修事業に着手。 ●その後もS56年8月の洪水により支川ルベシベ川、H11年8月の洪水により支川オロッコ川において浸水被害が発生したため、H4年よりルベシベ川、H14年よりオロッコ川の改修に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、ニセコ町宮田地区、喜茂別町喜茂別地区、京極町三崎地区、倶知安町南3～10条東地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。
---------	--

【アウトカム】等	<ul style="list-style-type: none"> ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 2,496戸→0戸 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 463ha→0ha
----------	---

事業概要	尻別川は、河口より50.0km地点から40.6kmの区間、支川ルベシベ川は尻別川合流点から6.0kmの区間、その他の5支川を含む合計55.95kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量 Q=1,500m ³ /s（支川ルベシベ川Q=160m ³ /s）	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画延長 L=55,950m	前回評価	今回評価	増減額
			築堤工 L=73,900m	2,773	5,052	2,279
			掘削工 L=55,950m	4,984	5,837	853
			護岸工 L=61,700m	10,039	10,064	25
			附帯工事			
			道路橋N=9橋等	2,504	2,529	25
			測量設計費 調査・設計	3,842	3,982	140
			用地費及補償費 用地買収・物件補償	1,030	1,036	6
			計	25,172	28,500	3,328

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 （河川改修等の治水対策） 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	—

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費	道負担額	当該年度事業費	累計事業費	進捗率(b)/(a)
							(a)			(b)	
事前評価又は当初	S34 (1959)	S34 (1959)		H26 (2014)		18,429	6,143				
前回再評価	S34 (1959)	S34 (1959)	H30 (2018)	H35 (2023)		25,172	8,391			22,857	91%
今回評価			R4 (2022)	R10 (2028)	63	28,500	9,500	223		26,236	92%

変更理由・内容（概要）	(1)ルベシベ川において掘削土の盛土流用にあたり粒径処理が必要になったことによる増額 (2)尻別川において築堤工に用いる盛土材の運搬距離が増となったことによる増額 (3)尻別川において樋門の構造が変更になったことによる増額 (4)資材及び労務単価や消費税率の変更による増額 (5)事業費の増額に伴い残事業の施工期間精査による事業期間延伸
-------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ● S24年（1949年）9月 浸水被害が発生（浸水面積538ha、浸水家屋267戸） ※尻別川 ● S56年（1981年）8月 浸水被害が発生（浸水面積 65ha、浸水家屋 25戸） ※ルベシベ川 ● H11年（1999年）8月 浸水被害が発生（浸水面積 15ha） ※オロッコ川
2. 事業検討の連続（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ● S34年（1959年）4月 尻別川本川及び支川（硫黄川、ソースケ川、倶登山川）の改修事業に着手 ● S56年（1981年） ルベシベ川改修促進期成会の結成、ニセコ町より道に河川改修の要望 ● H4年（1992年）4月 ルベシベ川の改修事業に着手 ● H11年（1999年） オロッコ川について京極町より道に河川改修の要望 ● H14年（2002年）4月 オロッコ川の改修事業に着手
3. 事業効果及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● ニセコ町宮田地区、喜茂別町喜茂別地区、京極町三崎地区、倶知安町南3～10条東地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積840ha（うち農地463ha）、浸水防止家屋2,496戸

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画												進捗状況	事業費(百万円)				
	施工(工種)区分	工事内容	S34	S35	S36	～	～	R2	R3	R4	R5	～			R10			
	築堤工	L=73,900m	<			L=72,460m						>			L=1,440m		76%	5,052
	掘削工	L=55,950m	<			L=55,224m						>			L=726m		93%	5,837
	護岸工	L=61,700m	<			L=54,255m						>			L=7,445m		97%	10,064
	附帯工事	道路橋N=9橋等	<			道路橋7橋等						>			道路橋2橋等		97%	2,529
	測量設計費	調査・設計	<									>					95%	3,982
用地費及補償費	用地買収・物件補償	<			176件						>	2件		99%	1,036			

(2) 進捗状況

ソース川、硫黄川、俱登山川、砂利川、オロッコ川放水路が合流するワッカタサップ川の整備が完了しており、現在は尻別川、ルベシベ川、オロッコ川の整備を促進している。掘削土の粒径処理、築堤工盛土材の運搬距離の増、樋門構造の変更等により事業期間を延伸しているが、残事業量を踏まえて事業期間の見直しを行っており、今後も順調に進捗していく見込みである。

b

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考	
	項目	R4現在	項目	R4現在		
	洪水被害防止効果	683,660	建設費	137,679		<ul style="list-style-type: none"> ●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出 ●効果及び費用はR4(2022)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
			維持管理費	315		
	合計(B)	683,660	合計(C)	137,994		
B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【再評価】 前回算定時B/C : 3.95 変更理由 :					
R4現在	4.95 <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・完了予定年度の延伸に伴う効果及び維持管理費の増加 ・治水経済調査マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR4に現在価値化したことなどによる。 					

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	既設コンクリートブロックの再利用	12
	施工の最適化	工事で発生する玉石等を護岸として有効利用、現地採取の表土を護岸などの覆土へ利用	24
	施工・維持管理の最適化	樋門工の統合について適宜検討し、施行及び維持管理コストの低減を図る	-

V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、ニセコ町宮田地区、喜茂別町喜茂別地区、京極町三崎地区、倶知安町南3～10条東地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH23年(2011年)9月(家屋7戸、農地82ha)などに浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 	
	a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
	<ul style="list-style-type: none"> ● 魚類などに配慮し、現況河床や現況河岸を極力保全している。 ● 河畔林を極力保全している。 ● 植生が早期に回復できる護岸工を採用。 ※前回の再評価以降における状況変化はない。
	(2) 事業推進に対する住民の動向
<ul style="list-style-type: none"> ● 喜茂別町、倶知安町(尻別川)、ニセコ町(ルベシベ川)、京極町(オロッコ川)から事業の早期完成に向けての要望が出されている。 ※前回の再評価以降における状況変化はない。 	
(3) その他の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 治水安全度を向上させるための検討を行っている。 ※前回の再評価以降における状況変化はない。

3. 事業達成の見込み	前回評価から事業期間を5年延伸しているが、事業の必要性に変化はないほか、事業を推進する上での課題等もなく、前回評価から大幅に事業が進捗していることから、予定年度での事業達成が見込まれる。	
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和10年度（2028年度）の完成を目指し、事業継続する。					
	a	a：継続	b：終了	c：休止	d：中止	
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 再評価：平成30（2018）年度評価 評価結果：継続（変更なし） B/C=3.95
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

Ⅶ 事業計画変更

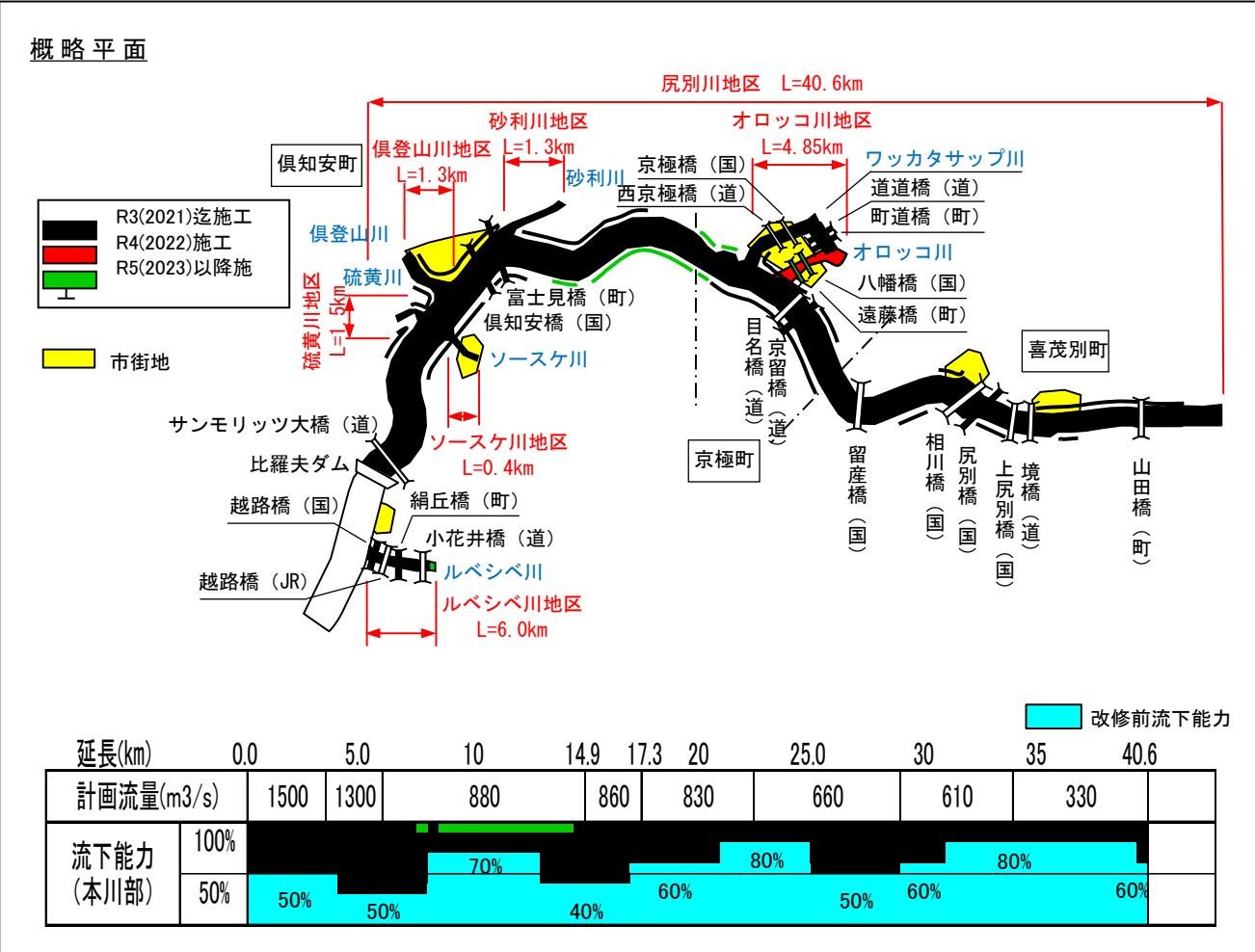
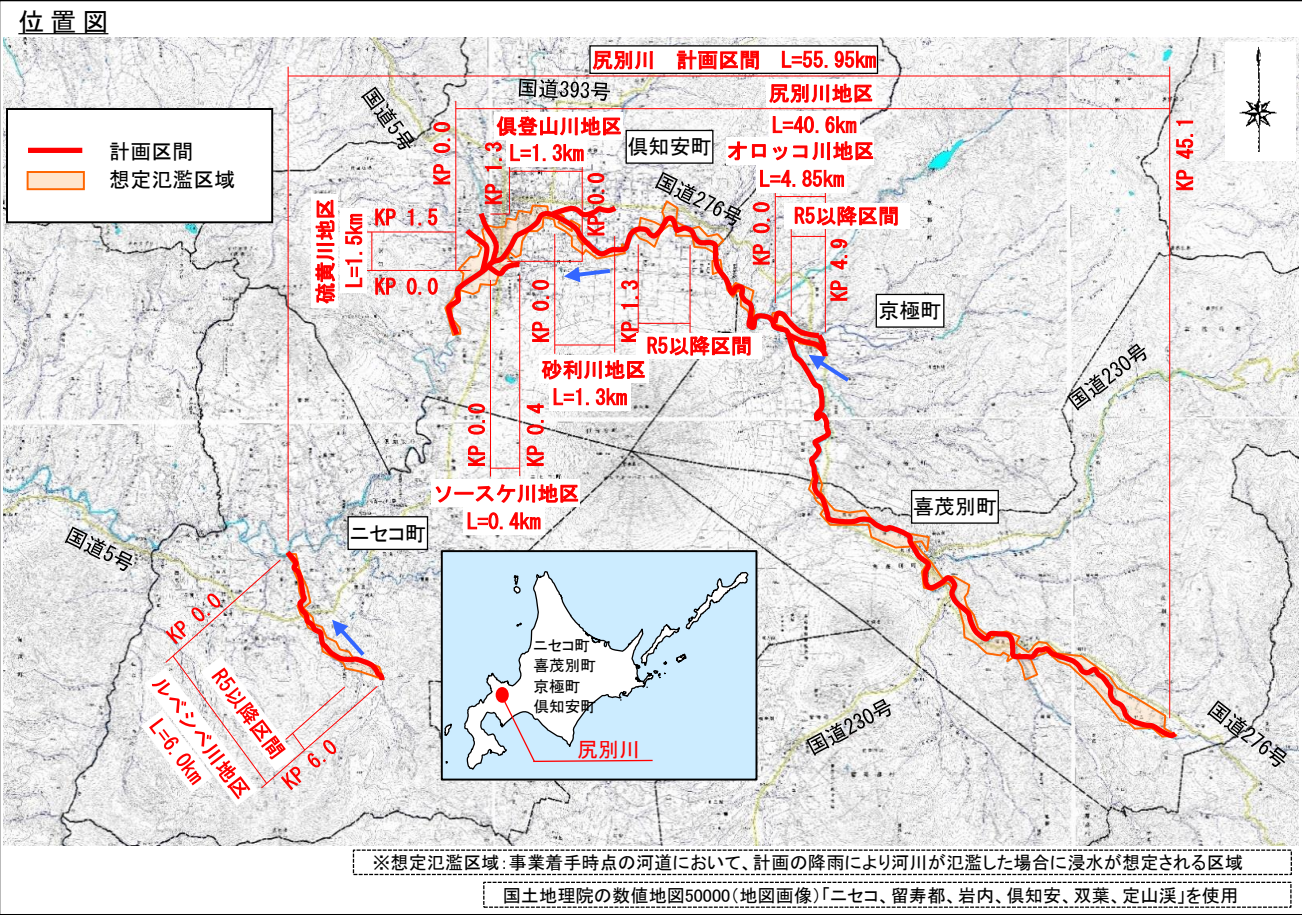
（単位：百万円）

事業経過							経 過 年 数	事業費			
再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)		当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)	
事前評価 又は当初	S34 (1959)	S34 (1959)			H26 (2014)	63		18,429			
変更①	1回目	S34 (1959)	S34 (1959)	H14 (2002)	H14 (2002)		H22 (2010)	20,411			
変更②	2回目			H20 (2008)	H20 (2008)		H26 (2014)	21,311			
変更③	3回目			H25 (2013)	H25 (2013)		H31 (2019)	23,811			
変更④					H26 (2014)		H31 (2019)	24,401			
変更⑤					H29 (2017)		H35 (2023)	24,805			
変更⑥	4回目			H30 (2018)	H30 (2018)		H35 (2023)	25,172			
変更⑦					R1 (2019)		R5 (2023)	26,000			
変更⑧	5回目			R4 (2022)	R4 (2022)		R10 (2028)	28,500	223	26,236	92%
変更⑨											
変更⑩											

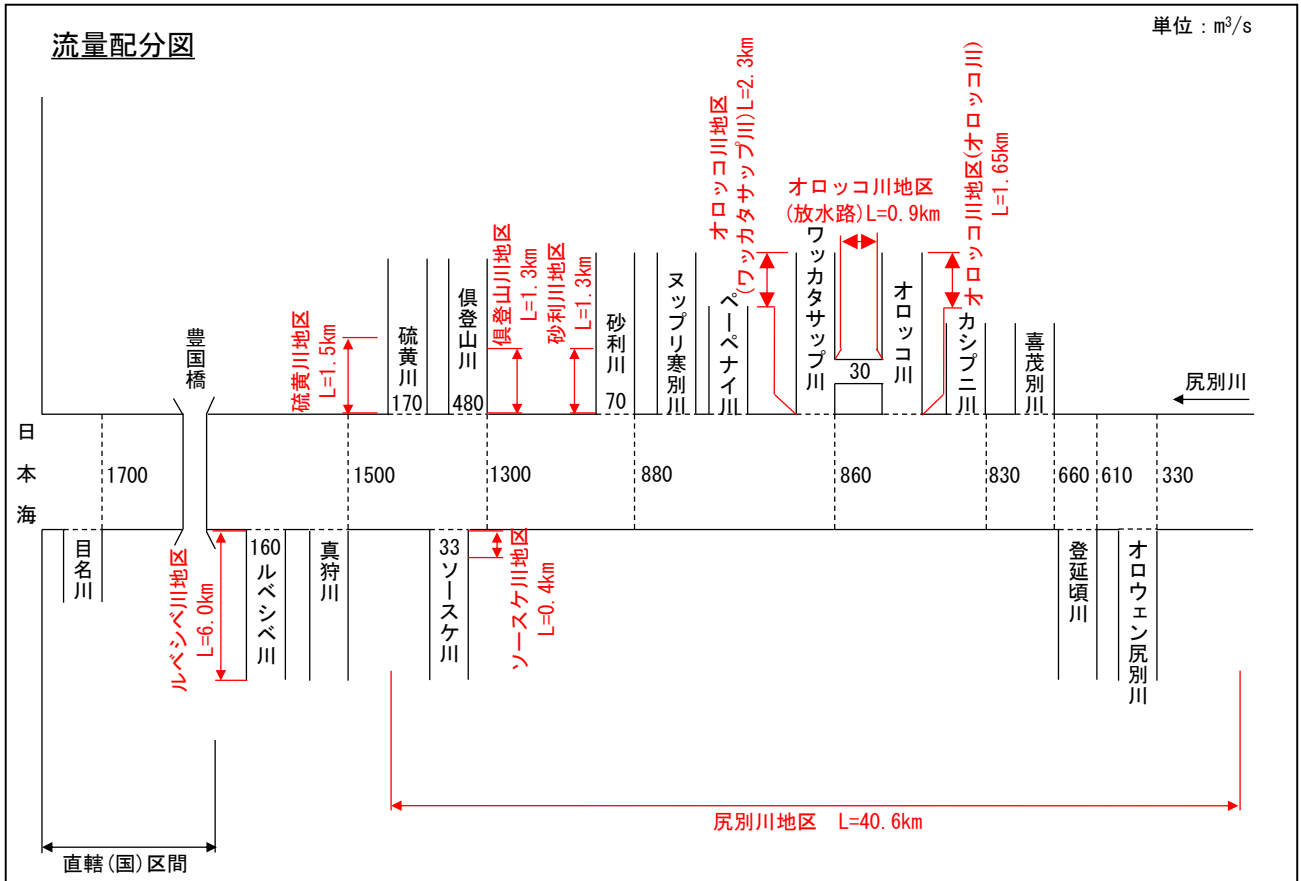
変更理由・内容

- 変更①：総事業費の変更
・支川オロッコ川の工区増及び事業費精査による増額
- 変更②：事業期間・総事業費の変更
・京極町からの要望を受けて「ふるさとの川整備事業計画」が認定され、親水護岸や散策路等の整備が追加になったことによる増額
- 変更③：総事業費の変更
・河岸侵食防止のための護岸工を追加したことによる増額
・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸
- 変更④：総事業費の変更
・ルベシベ川において、H23年（2011年）9月出水による河床低下を踏まえた帯工を追加したことによる増額
- 変更⑤：事業期間・総事業費の変更
・築堤工に堤防天端舗装を追加したことによる増額
・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸
- 変更⑥：総事業費の変更
・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額
- 変更⑦：総事業費の変更
・ルベシベ川において掘削土の盛土流用にあたり粒径処理が必要になったことによる増額
- 変更⑧：事業期間・総事業費の変更
・尻別川において築堤工に用いる盛土材の運搬距離が増となったことによる増額
・尻別川において樋門の構造が変更になったことによる増額
・資材及び労務単価や消費税率の変更による増額
・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸

事業名	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	尻別川	採択年度	S34 (1959)
-----	----------------------------	-----	-----	------	---------------



事業名	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	尻別川	採択年度	S34
-----	----------------------------	-----	-----	------	-----



計画諸元							
	尻別川	硫黄川	ソースケ川	倶登山川	砂利川	ルベシベ川	オロッコ川
流域面積(km ²)	818.2	30.2	5.4	113.1	9.2	28.2	3.4
計画延長(km)	40.6	1.5	0.4	1.3	1.3	6.0	4.85
氾濫面積(ha)	687					94	59
計画雨量	34.0mm/hr					28.6mm/hr	31.0mm/hr
計画高水流量(m ³ /s)	1,500	170	33	480	70	160	30
計画勾配	1/1,050~1/170	1/800~1/200	1/143	1/595~1/510	1/400	1/80~1/60	1/150

